

## ○タウンミーティング議事録(概要)

日 時:令和3年10月1日(金)

午後7時から午後8時40分まで

場 所:職業訓練センター 視聴覚室

出席者:30人

### テーマ 第2次富山市総合計画後期基本計画(案)について

#### 【テーマの説明に対する質問】

・「地域を担うひとづくり」とありますが、これは地域のコミュニティのことを指しているのでしょうか。例えば町内会、振興会、各種団体などを支える担い手、これは誰が育成して確保するということなののでしょうか。

#### (企画管理部長)

現在どこの地域でも、特に中山間地などは高齢化や高齢者だけの世帯が増えていることから、1例を挙げると地域活動や様々な行事ができないといったことや農業、林業の後継者不足というようなことなどがあります。

地域を担うというのは、それぞれの産業、農業、林業、あるいはその地域における若い方、あるいはその後継者をしっかりと地域で育成し、そこにとどまっていたいただき、生活していただけるような観点からどのような具体的な事業が展開できるか、ここでは特に重点テーマに基づいて、それぞれの目標に定めた中で政策や具体的な事業を検討していこうということです。先ほど言いましたように、富山市では、周辺部の方で、例えば、一旦、都会に出て暮らされた方が定年を迎えられ地域に戻られるときに、住宅のリフォーム支援などをしております。このふるさと回帰リフォーム事業などにより、例えば60代の方であっても、地域に帰って地域活動や町内会活動に取り組んでいただくことは、地域

にとっても大変良いメリットがあるということから、このような事業にも取り組んでおります。いわゆる地域を支える方々に、そこに住み続けてもらったり、戻ってきてもらえるような観点からの施策に、これからさらに対応していきたいと考えております。

・(地域を担うひとづくりに関して)この地域は少し感じが違うのですが、様々な各種団体や振興会が活動するにあたって、例えばドキュメントを作ってくれる方、何か手元になって作業してくれる方、力を出して何か設営をしてくれる方など、そのような人が恒常的に足りないということがあります。

例えば地区センターの職員には、所長、主事の方が2人ほど、他に財政援助職員の方がいらっしゃいますが、どうも仕事を分けている、担当を分けている。そうすると、団体によってサポートに差が出るということがあります。そのようなところもテーマに入れて計画を策定していただければと思います。

また、地区センターの中に最近、無線LANが設置されましたが、その運用の仕方が何も決まっておらず、全く使えないということがあります。その整備を早くしていただくようお願いいたします。

また、各種団体や振興会などでは、活動資金が少なく、富山市からは、いろいろ協力して欲しいとか、タイアップしてやりましょうという話がありますが予算的などころで難しいという場面が多々あります。そのような意味で、法人化はもう喫緊に迫っていると思います。今は任意団体なので、いろいろな補助金などはいただけませんが、法人化するといろいろなところからいただけますので、そのように変わっていかなければならない時期なのではないかと思っています。ですので、少し検討して、計画の中に再度盛り込んでいただければと思います。

・新庄校下では、一昨年から、買い物の移動に困難な人たちを住民のボランティアサービスでフォローする買い物支援サービスを進めております。

それに関連するということではありませんが、35 ページに生活交通サービス整備事

業という項目があります。先ほどの説明の中で、南北市街地の一体化ということで市街地のコンパクト化も順調に進み、誠に素晴らしいことだと思っておりますが、一方で、市街地を取り巻く地域、例えば、私どもが住んでいる新庄地域といった幹線から離れた市域では、最寄りのバス停や駅に行くための移動手段が確保されていません。特に高齢者にとっては、非常に辛いのではないかと思っています。せっかくバス停や駅があるので、そこを上手く活用し、連携して、円滑な移動を実現するために、何らかの手段を講じて対応していくことはできないのかと思います。

住民サービスや住民ボランティアだけでやれることには非常に限界がありますので、例えば駅やバス停をハブ化して、そこを起点に、そういったところへ回す交通手段を作るなど、何か手だてを打っていただくようご検討ください。

(市長)

今おっしゃったとおり、富山駅に向かって放射線状に鉄軌道やバス路線が充実しているというのが富山市、富山県の特徴です。逆に言うと、富山駅方向に集中しているため、横の交通がないというのは悩みです。

どのような交通がその地域にマッチしているのかを含め、ご意見を参考にさせていただきたいと思っております。

### 【その他意見交換】

・新庄北小学校は民間のホクタテさんが管理しています。このコロナ禍のため、学校開放において体育館を使用する際、窓を開けますが、害虫などが入ってくるので、体育館に網戸を設置して欲しいというお願いをしました。しかし、小学校の体育館においては、ほぼ網戸はないと、富山市では設置してないと言われました。でも、新庄小学校は3年ほど前に体育館を作ったときに網戸が入っています。

そのようなこともあり、私どもは市から補助金をもらっているのですが、その補助金を使って設置させてもらえないかと言いましたが、寄付行為になるため使えないと言われ困っ

ています。振興会からも少し予算をもらっていますので、今年はそれで賄うことになりましたが、体育館はベランダの方と体育館の横の両方があり、全部設備すると 50 万円ほどになります。そのお金は私たちにはないものですから、何とか工面して体育館の横だけ、設置しました。補助金を使わせてもらえれば、もっと楽なのですが、補助金を使うことはできないのでしょうか。

(企画管理部長)

新庄北小学校は、PFI事業で建設から整備、それから 15 年間の維持管理を含めて、ホクタテさんが行っておられます。市で整備するもの、PFI事業者で整備するものというのは、その役割分担をあらかじめ決めてあり、当初整備後の大きな工事や改修、備品購入などについては市で行い、維持管理についてはPFI事業者が行うという役割分担がありますので、ご要望にどのように対応するのか、教育委員会等に確認した上でご回答させていただきます。

(後日回答)

#### 【学校における網戸の設置について】

学校の体育館への網戸の設置につきましては、学校教育の管理・運営上の観点から申し上げますと、主に日中に限られることからその必要性は高くないものと考えており、教育委員会といたしましては、学校教育活動への必要性を個別判断し、設置しております。

この度ご指摘のありました学校開放での使用時につきましては、夜間帯に使用されるケースが多く、網戸の必要性は高いものと考えられることから、施設・設備の技術的な面において支障がない範囲で、使用される方々のご負担により設置いただいているところであります。 <回答担当課>教育委員会事務局 学校施設課・教育総務課

#### 【網戸設置に係る補助金の利用について】

学校体育施設開放事業では、「富山市立学校体育施設等開放事業実施要領」に基づ

き、各校区の運営委員会に対して補助を行っておりますが、この趣旨としましては、会議や研修の実施、備品や用具の購入、大会の実施に係る費用など、委員会の運営や開放事業の実施に対する補助を行っているものです。

運営委員会として市の施設である学校に網戸を設置することは市に対する寄付行為となりますが、この補助金を原資として寄付を行うことは、補助金の趣旨と相反することになることから、補助金を使用しての網戸の設置はできませんので、ご理解くださいますようお願いいたします。 <回答担当課>市民生活部 スポーツ健康課

・藤井市長が当選された選挙の時に「幸せ日本一とやま」というスローガンを掲げておられ、今の説明された中でも「幸せ日本一とやま」を目指そうという意気込みが伝わってきました。

そこで質問ですが、東洋経済新報社が日本の中核市の中での幸福度ランキングを出しており、富山市は総合ランキング 4 位になっています。そのランキングを上を上げるためにやっているわけではないと思いますが、この幸福度ランキングも視野に入れながらやっておられるのでしょうか。

また、さきほどの交通の横の繋がりについて、私の子どもが富山東高校に通っており、東高校行きというバスを見かけますが、非常に本数が少ないです。先ほど言われたように横のつながりをさらに検討されるという部分でもありますが、公共の交通機関では利用者も少なく、難しいと思います。東高校行きというバスがありながら、朝も夕方の帰りのバスも高校生が乗っていないと。これは何のためのバスなのかと思いながら、今日の説明を聞かせていただきました。

(市長)

幸せの指標はたくさんあります。東洋経済新報社や早稲田大学や法政大学の研究室が調べたりしていますけど、それは評価であり、それがすべてではありませんが、その資料も参考しながら、まちづくりに取り組んでまいりたいと思います。

バスについては、地鉄などの民間事業者のことであり、毎年様々な工夫をして路線をかえたり、ダイヤ改正をしたりしてやっておられますが、そのようなご意見があるということも含めて、事業者にお伝えしたいと思います。

※発言の一部を整理して掲載しています(広報課)